令和３年度　日吉小学校　学校だより

第１３号

わかくす

令和４年３月１６日
文責：校長　伏貫義樹

令和3年度教育活動の振り返り

【４：よくできている　３：だいたいできている　２：ややできていない　１：あまりできていない】

【めざす児童像】		評価
地域学校協議会員	学校は、教育目標に掲げている子どもを育てようとしている。「豊かな心をもち、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する子どもの育成」	３．９
保護者	学校の教育に満足している。	３．４
職員	学校の教育目標の具現化に向けて、学校プランや学年経営案に基づいた学級経営の重点を設定し、その達成に向けて努力した。	３．０
【学びをつなぐ授業】		
地域学校協議会員	学力を保障し、向上させるための取組は実践されており、成果を上げている。	３．８
保護者	学力がついた。	３．２
職員	単元のねらいを十分に達成するために教材研究をし、「めあて」と「まとめ」のある、わかる授業づくりに努めた。	３．２
【楽しい学校】		
地域学校協議会員	心豊かな子どもを育てるための取組を行っており、子ども達の心が育ってきている。	３．６
保護者	子どもは、「学校に行くのが楽しい」と言っている。	３．４
職員	自他の生命や人権を大切にする心が育つように指導を工夫した。	３．１
【笑顔の先生】		
地域学校協議会員	学校は、教職員が協力して学校運営に当たっている。	３．７
保護者	毎日の学習や行事に熱心に取り組み、子どもたちに充実感や満足感を味わわせている。	３．５
職員	働き方改革を意識しながら業務改善を工夫し、児童に向き合う時間の確保に努めた。	２．７
【協働する学校・家庭・地域の推進】		
地域学校協議会員	学校は、地域や保護者と連携を図り、信頼される学校づくりにあたっている。	３．４
保護者	学校は、通信、授業参観や学校行事等開かれた学校作りを進めている。	３．５
職員	安全・安心についての取り組みを家庭・地域との連携を取り、実施することができた。	２．９

学校では、一年間の教育活動を振り返り、その成果と課題を明らかにして、次年度に活かしていくよう学校評価を行っています。本年度「豊かな心をもち、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する子どもの育成」の教育目標達成に向け、全職員で教育活動に取り組んできました。コロナ禍の中、様々な行事等も中止や縮小などの対応をとらなければならない事もありましたが、感染症対策に留意して知恵を絞りながら取り組んできた一年でもありました。左の表は、地域学校協議会委員の皆様、保護者の皆様、教職員にアンケートで振り返りを行った結果の一部です。概ねよい評価をいただいています。また、「子どもたちは、コロナ禍で我慢を強いられていますが、それでも環境に順応し楽しもうとするたくましさを感じます。」「タブレットを使った授業等、今後いつかはやらなくてはならないことを早めにできた事はよかったと思います。」「今年もふれあい体験などができませんでしたが、早くマスクを取って子どもたちとふれあいたいものです。」「いろいろな行事が縮小となっても、限られた時間で子どもたちの立派な姿を見ることができ感謝しています。」などの言葉もいただきました。

新しい先生の紹介

３月より、新しく内藤優香先生が日吉小学校に勤務されています。授業などで、子ども達への支援をしていただいています。どうぞよろしくお願いします。

小学校最後の授業。そして、旅立ち

明日３月１７日（木）、第１３４回卒業証書授与式を執り行います。６年生９９名が日吉小学校を旅立っていきます。最上級生として、様々な場面で日吉小学校を支えてくれた６年生の皆さん。いろいろとありがとう。そして、卒業おめでとう。小学校での学びや経験を大切にして、中学校でさらに飛躍してくれることを願っています。

一年間ありがとうございました

本年度もあと僅かで終わりを迎えます。昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響は未だに続いていますが、できる・できないを判断しながら、できることに精一杯取り組んできた一年でもありました。様々な面で、ご支援・ご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。